

## まちづくりの目標 1 未来を創り出す子どもが育つまちづくり (子育て・教育)

まずはじめに、まちづくりの目標 1「未来を創り出す子どもが育つまちづくり」について申し上げます。

まず、子ども・子育て支援の充実につきましては、令和6年度に開設した「子ども家庭センター」を中心とした相談体制の充実を図るとともに、すべての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境整備を進めてまいります。

また、ハイリスク家庭にはサポートプランに基づき継続的な支援を行うとともに、出産後は、産婦健康診査や乳児家庭全戸訪問により精神的不安の早期発見に努め、必要に応じて養育支援訪問事業や産後ケア事業につなげ、子どもの健やかな成長等の支援と保護者の育児不安の軽減に取り組んでまいります。

また、令和7年度から新たに、家事・子育て等の支援を行う子育て世帯訪問支援事業や多胎妊産婦世帯を対象に家事代行サービスを提供する取組を実施するほか、愛媛県との連携により、拡大新生児スクリーニング検査を開始し、先天性疾患の早期発見・早期治療に取り組んでまいります。

さらに、低所得の妊婦に対する初回産科受診料の支援や出産世帯への応援給付金支給などの新たな施策を開始し、出産及び子育て環境の充実を図り、四国で一番の子育て支援、子育てにやさしいまちの実現を目指してまいります。

次に、学校教育の充実につきましては、様々な変化に柔軟に対応できる、未来を切り開ける力を持った子どもを育成していくため、基礎的な学力・体力向上を目指す取組に加え、家庭や地域と連携しながら、防災教育や環境教育、生きた英語教育等を推進してまいります。さらに、市内の全小・中学校において、ユネスコスクールとしてESDの視点に立った特色ある教育活動を推進し、SDGsの達成へ貢献できる、地域の担い手育成に取り組んでまいります。

また、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等との連携を強化し、いじめ・不登校等の問題に対応してまいります。さらに、新年度におきましては、不登校生徒への支援の充実を図るため、校内サポートルームの設置校を1校拡充し、よりきめ細やかな支援を推進してまいります。

安全・安心で充実した教育環境の整備につきましては、小・中学校の適正規模・適正配置等に関する基本計画に沿って、既存施設の計画的な長寿命化等を図り、令和7年度は金子小学校校舎北棟の改築に着手するとともに、教育現場におけるICT機器を活用した教育の推進を図ってまいります。また、小・中学校体育館への空調設備設置に向けた設計業務に着手し、学校教育や社会教育等における体育館利用者の安全・安心・快適性の確保に向けた取組を推進してまいります。さらに、保護者の負担軽減を図るため、国の物価高騰対応重点支援地方創生

臨時交付金を活用し、給食費の一部助成を実施いたします。

一方で、ここ数年の社会情勢の変化、急激な少子化を受け、様々な事業、計画の再検討も行っております。